報告

第 22 回　北東 3 地域本部技術士交流研修会

羽二生　　望

1. はじめに

第 22 回北東 3 地域本部技術士交流研修会は、去る 2019 年 9 月 24 日(火)仙台駅前の TKP ガーデンシティ仙台で開催されました。

当日は来賓として宮城県遠藤副知事、日本技術士会寺井会長をお招きし、北陸本部からの 9 名、北海道本部からの 13 名を含めた総参加者数 75 名で、基調講演～各本部からの発表～座談会のプログラムが盛会のうちに行われました。北海道本部からは今回のメインテーマに合わせて、青技交メンバーより活動報告の 1 名を含めた 3 名が座談会に登壇しました。

2. 交流研修会概要

本研修会は、全国 8 つの地域本部の内、地域の自然、文化、産業構造が類似する北東地域(＝東北・北陸・北海道本部)で活動する技術士が、地縁技術の掘り起こしや共通に抱える課題・成果について情報交換を行い、北東地域の発展に寄与することを目的として、平成 10 年度から毎年 3 地域本部が持ち回りで開催しており、今回第 22 回が東北本部の主催で開催されました。

写真-1　研修会風景

今回は「若手技術者教育と技術の伝承」と題して、各地域・各業界が共通に抱える“次世代の担い手の確保やその育成”がテーマとして設定されました。

東北本部橋本技術士の司会で開会し、主催本部の熊谷東北本部長のご挨拶、続いて森北海道本部長、大谷北陸本部長のご挨拶、来賓の遠藤副知事よりご祝辞を戴いたのち、基調講演、発表 3 題(3 本部各 1 題)、座談会が実施されました。

写真-2
橋本技術士(司会進行)

写真-3
熊谷本部長(東北本部)

写真-4
森本部長(北海道本部)

写真-5
大谷本部長(北陸本部)

写真-6
遠藤宮城県副知事
(来賓祝辞)

《研修会プログラム》

●メインテーマ：「若手技術者教育と技術の伝承」

【基調講演】

●建設業における映像技術の利活用

トライポッドワークス（株）代表取締役社長
佐々木　賢一氏

【若手の活動報告】

●北海道本部青年技術士交流委員会の活動報告

北海道本部青年技術士交流委員長　平岡　城栄氏

●建設コンサルタンツ協会東北支部若手の会の活動

建設コンサルタンツ協会東北支部若手の会委員長
山本　佳和氏

●若手・女性で考える「建設関連産業の未来」

北陸本部青年技術士交流委員会
新潟県建設関連産業若手マンパワーアップ小委員会
委員長　大竹　雄氏

【座談会】「若手技術者教育と技術の伝承」

座長：今西肇氏；（株）小野組・東北工業大学名誉教授

座員：平岡城栄氏（明治コンサルタント（株）／北海道本部）
密山彰浩氏（ダイシン設計（株）／北海道本部）
小澤正志氏（北電総合設計（株）／北海道本部）
千葉透雄氏（三井共同建設コンサルタント（株）／東北本部）
工藤清和氏（（株）キタコン／東北本部）
大竹雄氏（新潟大学自然科学系准教授／北陸本部）
小酒欽弥氏（（株）興和／北陸本部）

コメンテーター：佐々木賢一氏、
加納実氏（東北本部建設部会長）

本研修会終了後は、会場を移しての交流会も行われました。

3. 基調講演（佐々木　賢一氏）

主に企業向けにセキュリティソリューションを提供するなどの IT コンサルタントを業とするトライポッドワークス株式会社の佐々木社長からは、基調講演として**「建設業における映像技術の利活用」**と題してご講演いただきました。

写真-7　佐々木賢一氏

写真-8　基調講演の様子

現在は、ドローンや ICT 技術の活用により、従来のような時間や費用をかけずとも、動画・静止画など映像情報データの取得が可能となっており、この文字や音声よりも大量の情報伝達が可能となる映像情報の特性を活かし、現場の安全管理、BIM/CIM との併用など、様々な活用事例についてご紹介いただきました。特に「建設の恰好良さ」を伝える映像は、建設業の魅力アップや担い手確保につながるものと考えられ、今後は ICT 技術をどのように役立てていくか、技術士の皆さんとその可能性を考えていきたいという期待が述べられました。

4. 若手の活動報告

4.1　北海道本部（平岡城栄技術士）

●北海道本部青年技術士交流委員会活動報告

写真-9　平岡城栄技術士

北海道本部の青技交委では「より魅力ある青技交へ」をテーマに、平成 30 年度は大小含め年間 17 のイベントを実施しており、代表的なものとして参加者のコミュニケーションの活性化を図るクロスロードゲームを取り入れた研修、テクニカルツアー、次世代を担う技術者交流、家族を同伴した夏・秋の合宿（キャンプ）、ワークライフバランスを考える講演会･ワークショップなど、多岐にわたる内容の活動が紹介されました。中でも、小学生向けに作成・配布している「技術士学習ノート」では、QR コードで 4 コマ漫画にアクセス

すると、部門毎に「技術士のしごと」が紹介されるなど、様々な工夫を施した取り組みが発表されました。

4.2　東北本部（山本佳和技術士）

●建コン東北支部・若手の会の活動

建設コンサルタンツ協会東北支部の「若手の会」では、土木学会の学生との交流会、釜房ダムの親子現場見学会「とうほくダムゴー！ダムゴー！」、若手の勉強会等積極的な活動が実施されているとの報告がありました。

写真-10　山本佳和技術士

また「官民の垣根を越えて業界の未来を考える場」として、国土交通省東北地方整備局の若手技術者との交流会も行われているとのことでした。

なお、各イベントではアンケート調査を行って参加者からの意見・要望を収集・分析して、次の活動に活かすことも実施されています。

4.3　北陸本部（大竹雄技術士）

●若手・女性で考える「建設関連産業の未来」

北陸本部からは、「学生の視点から」建設関連産業の未来を考えてみる趣旨の活動報告がありました。

写真-11　大竹雄技術士

最初は半強制的に学生を参加させて始めた活動でしたが、今では女性の参加の方が多い人気の活動となっているとの報告があり、さらには講演会・研修会の他、新潟土木女子会議などの活動も紹介されました。

学生は、「社会に貢献したい」「自分が成長したい」と、技術者としての思いは同じである一方、自由度の高い、クリエイティブな仕事をしたいとも考えているようであるとのことでした。

写真-12　発表に聞き入る参加者の皆さん

5. 座談会

座談会は、座長の今西肇技術士（東北工業大学名誉教授）の進行で行われ、談話のテーマとして①自己紹介と自分自身の技術者教育について、②人材確保と ICT の利用、③大学教育から社会人教育へ、の３つが提示され、それぞれのテーマ毎に活発な意見が交わされました。

写真-13　今西技術士・座長

座員は若手技術者７名で、北海道本部から平岡城栄技術士、密山彰浩技術士、小澤正志技術士、北陸本部から大竹雄技術士、小酒欽弥技術士、東北本部から千葉透雄技術士、工藤清和技術士が登壇し、質問役・コメンテーターとして、加納実技術士（東北本部建設部会長）と基調講演講師の佐々木賢一氏が参加しました。

写真-14　座談会登壇者

座長の進行により、各テーマについて様々な意見が述べられました。

・詰め込み教育ではなく、コミュニケーション（繋がり）から生まれる教育が望ましい。
・最初に社会の抱える問題を教え、それから解決策となる技術を教える。先に問題意識を持たせることにより意欲的に学ぶことができる。
・文字やマニュアルより、動画で学ばせる。
・現場に出て学習した「危険体験」または「そこに至る前のヒヤリハット」を疑似体験で学ぶ ICT 技術が有効と考えられる。

写真-15　座談会登壇者
（北海道本部青技交メンバー）

など、参考となる教育の方向性や、今後期待される ICT 技術など、様々な意見が交わされました。

最後にコメンテーターの佐々木氏からは「新しい技術で、今までのやり方から引き算し、やり方を変えることで（同じ成果を得るための）仕事量が減らないと意味がない」、今西座長からは「それぞれが今日の話題を持ち帰り、発展させて欲しい」との言葉があり、座談会はしめくくりとなりました。

6. 交流会（意見交換会）

研修会終了後は会場を別のフロアに移し、交流会が開催されました。東北本部滝上事務局長の進行、熊谷本部長のご挨拶に続き、研修会途中からご参加となった寺井会長のご挨拶をいただいたのち、遠藤副本部長（東北本部／宮城県支部長）のご発声による乾杯にて開宴となりました。

写真-16　左から滝上事務局長、熊谷本部長、
寺井会長、遠藤副本部長

会場のあちこちでは、多数の参加者が今回の研修会テーマに関する認識をさらに深める意見交換や、日ごろ抱える課題等について活発なコミュニケーションが図られていました。

写真-17　加納部会長による交流会中締め

話は尽きないまま時間は経過し、名残を惜しみつつ、最後は加納部会長（東北本部建設部会）のメにて、交流会は中締めとなりました。

7. おわりに

今回の交流研修会は、近年の傾向とは趣を変えた試みとして、従来の研修発表ではなく、若手の活動報告と座談会の形で開催されました。その意図は、少子高齢化、業界の担い手不足など、北東 3 地域本部の共通課題をテーマに据えて企画されたものとのことでした。事後の交流会では、「若手の考え・意見が聞ける、大変有意義な研修会であった」と、参加者の多くから好評を博していたようです。

最後に今回の研修会開催にあたり、企画・準備・運営に、多大なご苦労をされたであろう東北本部の皆様に感謝の意を述べますとともに、今後の北東 3 地域の交流研修会が、ますます有意義なものとなることを祈念する次第です。また、本稿執筆にあたり、写真・資料等をご提供いただきました東北本部事務局様のご協力に、厚く御礼申し上げます。

（次回は、北陸本部主催で開催の予定です！）

羽二生　　望（はにう　のぞむ）
技術士（建設／総合技術監理部門）
日本技術士会北海道本部　幹事／事務局長
株式会社ドーコン　事業推進本部
e-mail：nh813@docon.jo